

 評価のポイント

## CL-Ⅲ. 看護実践能力：協働する力

## [30-3] 小児の訪問看護 3 医療的ケア児の生活とサービス

**1. 重症心身障害児や医療的ケア児について、①本人の様子②治療計画③発達支援④サービス利用⑤家族の変化等について 1 歳前後から就学までに、どのような変化が起きていくのかを考えてみましょう**

これからの人生を伴走していく看護師として、見通しを持った支援を考えられるように意識して入退院支援看護師や訪問看護師としてプラン出来ると良いと思います。1 歳前後で知り合い、3 歳の時はどうなっているのか？通えるところはあるのか？学区はどこなのか？などを想定しながら見通しやマイルストーンを設定し看護計画を進めていくと、生活の広がりを感じ、生活の広がりに必要な地域連携先が明確になっていきます。

**2. 家から地域に出ていくために、必要な支援を書き出してみましょう。**

退院して在宅で安全に医療的ケアが実施できれば良いと考えがちですが、こどもらしく健康に暮らすためには、こども同士の関りや、遊びや外出して楽しむことが重要ポイントになります。そのために看護師に何ができるのか、情報収集やアセスメントに必要な視点を養います。